

西部の娘

[本日のスケジュール(予定)]

・作品解説・第1幕

13:30～15:00

・休憩

15:00～15:20

・第2幕

15:20～16:45/17:00 終了予定

あらすじ

19世紀半ば、ゴールド・ラッシュに沸くカリフォルニア。酒場ボルカは、一攫千金を狙う鉱夫たちの憩いの場です。ボルカの女主人ミニーは、鉱夫たちのマドンナ的存在です。保安官ランスは妻帯者だというのに、彼女に求婚し、相手にされません。そこへティック・ジョンソンと名乗る男が現れます。彼に心惹かれるミニーは、自宅の山小屋へ招待します。ところが、ジョンソンの正体は盗賊団の首領ラメレスであると判明。彼の行方をランスたちが追います。銃弾に倒れて傷を負うジョンソンを、ミニーは屋根裏にかくまいますが、ランスに発見されてしまいます。ジョンソンの身柄を賭けて、ミニーはランスにカードの勝負を挑み、いかさまをして勝ちます。ですが、結局、鉱夫たちにジョンソンは逮捕されてしまいます。処刑目前、ミニーはジョンソンの命乞いに駆けつけ、いきり立つ鉱夫たちを必死で説得します。ミニーの深い愛に心打たれ、鉱夫たちはジョンソンを解放します。かくして、ミニーとジョンソンは、新天地へと旅立つのです。

原作：デイヴィッド・ベラスコ
『黄金の西部の娘』

作曲：ジャコモ・フッチーニ

台本：ゲエルフォ・チヴィニーニ、カルロ・サンガリーニ

初演：1910年12月10日

メトロポリタン歌劇場(ニューヨーク)

形式：全3幕のオペラ

演奏時間：約2時間18分

主要キャラクター相関図



盗賊団を追う保安官
ジャック・ランス

酒場ボルカの女主人
ミニー

実は盗賊団の首領
ティック・ジョンソン

アシュビー
ウェルズ・ファルゴ運送
会社の支配人。ランス
に捜査協力をします。

ニック
酒場ボルカの給仕人。
ジョンソンをかくまうミニーをかばいます。

ソノーラ
鉱夫。ミニーと結婚する
と言い出すランスと喧嘩します。

ピリー
インディアンの青年。
ウォーカーの子供の父
親です。

ウォーカー
ミニーの家の召使いで
インディアンの女性。
未婚の母です。

カストロ
ラメレス率いる盗賊団
の一員。アシュビーに
捕まります。

重要なキャスト

ミニー

バーバラ・ダニエルズ (Barbara Daniels)

1946年アメリカ生まれのソプラノ。1974年シンシナティオペラ「ラ・ボエーム」のムゼッタでデビュー。1975年オーストリアのインスブルック市立劇場と契約。1983年「ラ・ボエーム」のムゼッタで、メトロポリタン歌劇場に初出演。同歌劇場では「椿姫」のヴィオレッタ、「こうもり」のロザリンデ、「ファウスト」のマルグリート、「ファルスタッフ」のフォード夫人を好演。

ティック・ジョンソン

プラシド・ドミンゴ (Plácido Domingo)

1941年マドリッド生まれ。メキシコに育ち、1957年デビュー。1959年にパリトンからテノールに転向、1961年メキシコ国立歌劇場にて「椿姫」のアルフレードで初主演。1966年メトロポリタン歌劇場に「カヴァレリア・ルスティカーナ」のトゥリットウで初登場。1967年に「ドン・カルロ」でウィーン国立歌劇場にも立つ。指揮者、芸術監督としても活動している。

ジャック・ランス

シェリル・ミルネス (Sherrill Milnes)

1935年アメリカ生まれのバリトン。1960年ゴルドフスキ、オペラ・カンパニー「ドン・ジョヴァンニ」のマゼットでデビュー。1965年「ファウスト」のヴァランタンでメトロポリタン歌劇場に初出演。同歌劇場では1979年「アイーダ」のアモナゾでの引退まで、「イル・トロワトーレ」のルーナ伯爵や「マクベス」のタイトル・ロール、「オテロ」のイアーゴなどを歌った。

アシュビー

ジュリエン・ロビンス (Julien Robbins)

アメリカのバス。1979年メトロポリタン歌劇場「アイーダ」のエジプト王でデビュー。以降、同歌劇場にて「エフゲニー・オネギン」のグレーミン公爵、「リコレット」のモンテローネ伯爵、「カルメン」のスニカ、「ハルジファン」のティトゥレルなど、幅広い役柄を歌いこなす。グラントボーン音楽祭、ミラノ・スカラ座などにも出演。

指揮

レナード・スラットキン (Leonard Slatkin)

1944年アメリカ生まれ。音楽一家に育ち、インディアナ純合大学、ロサンゼルス市立大学に学んだ後、ジュリアード音楽院でジャン・ポール・モレルから指揮を学ぶ。1966年指揮者デビューを果たす。1977年ニューオリンズ・フィルハーモニー管弦楽団指揮者、1979年セントルイス交響楽団音楽監督。1996年ナショナル交響楽団、2000年BBC交響楽団首席指揮者。2008年テトロイド交響楽団音楽監督を歴任。2011年リヨン国立管弦楽団音楽監督に就任。20世紀アメリカ音楽の擁護者としても知られる。

台本：ゲエルフォ・チヴィニーニ & カルロ・サンガリーニ
Libretto : Guelfo Civinini & Carlo Zangarini

原作：デイヴィッド・ベラスコ『黄金の西部の娘』
Based on : David Belasco "The Girl of the Golden West"

演出：ジャンカルロ・デル・モナコ

Stage Production : Giancarlo Del Monaco

メトロポリタン歌劇場管弦楽団&合唱団
Metropolitan Opera Orchestra & Chorus

合唱指揮：レイモンド・ヒューズ

Chorus Master : Raymond Hughes